

# インターネットを体験したい方へ

誰でも自由に利用できるインターネット用公共端末が、  
県の関係施設に設置してあります。ぜひご利用ください。

■ 女性総合センターあざれあ(静岡市馬淵) TEL 054-250-8107

■ 県庁 東館2階ロビー TEL 054-221-2237

## ■ 総合庁舎

下田総合庁舎(下田市中) TEL 0558-24-2004  
 熱海総合庁舎(熱海市水口町) TEL 0557-82-9005  
 東部総合庁舎(沼津市高島本町) TEL 055-920-2005  
 富士総合庁舎(富士市本市場) TEL 0545-65-2102  
 静岡総合庁舎(静岡市有明町) TEL 054-286-9083  
 藤枝総合庁舎(藤枝市瀬戸新屋) TEL 054-644-9204  
 中遠総合庁舎(磐田市見付) TEL 0538-37-2201  
 北遠総合庁舎(天竜市二俣町) TEL 0539-26-3124  
 浜松総合庁舎(浜松市東田町) TEL 053-458-7154

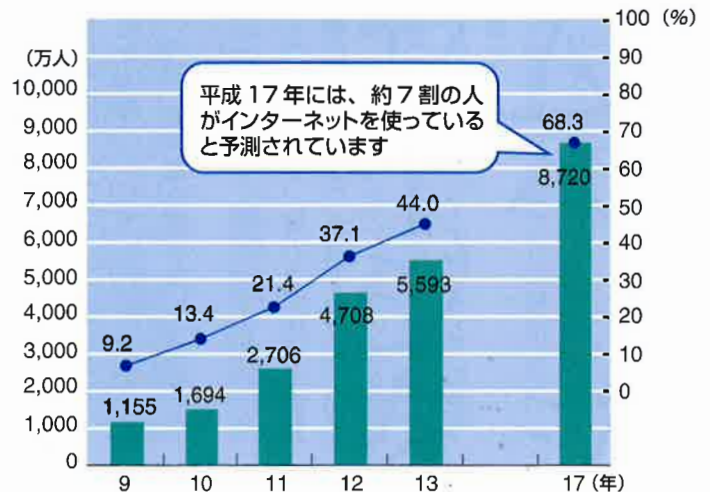
## ■ その他施設

東部地域交流プラザ「パレット」(沼津市大手町) TEL 055-951-8215  
 総合健康センター(三島市谷田) TEL 055-973-7000  
 清水マリンターミナル(清水市日の出町) TEL 0543-55-1122  
 県立中央図書館(静岡市谷田) TEL 054-262-1242  
 県立美術館(静岡市谷田) TEL 054-263-5755  
 ふじのくにNPO活動センター(静岡市呉服町) TEL 054-274-2995  
 障害者マルチメディア情報センター(静岡市駿府町) TEL 054-205-9250  
 グランシップ(静岡市池田) TEL 054-203-5710  
 中部県行政センター旅券センター(静岡市黒金町) TEL 054-252-0055  
 産業経済会館(静岡市追手町) TEL 054-273-4330  
 地震防災センター(静岡市駒形通) TEL 054-251-7100

## ■ その他出先機関

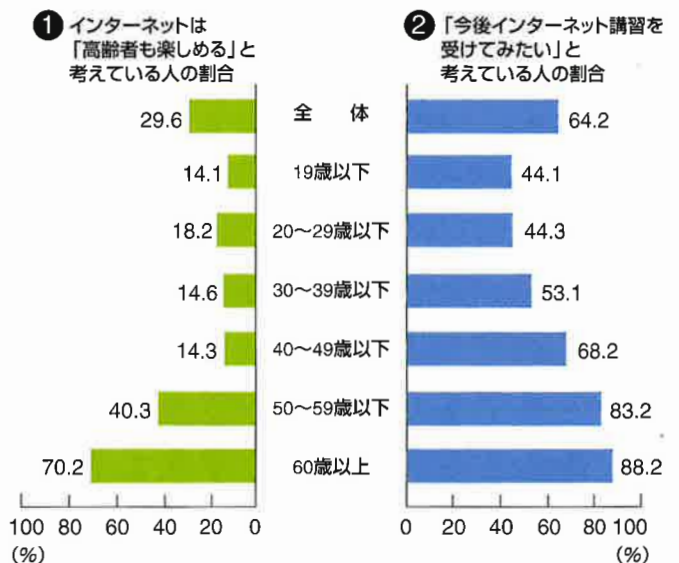
御殿場合同庁舎(御殿場市竈) TEL 0550-82-1222  
 畜産試験場(富士宮市猪之頭) TEL 0544-52-0146  
 中部健康福祉センター(清水市辻) TEL 0543-67-1141  
 環境衛生科学研究所(静岡市北安東) TEL 054-245-0201  
 西部健康福祉センター浜名分庁舎(浜名郡新居町) TEL 053-594-3661

## インターネットの人口普及状況



※平成14年版 情報通信白書より

## 50代、60代以上はインターネットに関する関心が高い



※平成13年度 国民生活白書より

もっとITを知りたいあなたへ…

# 本の紹介



「インターネットは  
介護主婦の救い主」

藤田 幸子 2001年 藍書房

夫の母の介護生活を機にインターネットを始め、ホームページを開設。介護をしながらインターネットを通じての交流の様子が書かれている。



「インターネットと  
21世紀型女性の起業」

渡邊 桃伯子・川野 真理子  
2002年 新水社

インターネットとの出会いで仕事を始めたり、生活環境が変わったりした女性たちの紹介のほか、これからインターネットを使って何かをしようとする方へのガイドブックとなる利用法、役立つサイトを掲載している。



「IT時代を切り拓く  
女性起業家たち」

橋本 久義・片岡 信之 編著  
2001年 日刊工業新聞社

人の輪(人的ネットワーク)やIT(情報技術)を生かした情報ネットワークで、横のつながりを利用した新しい仕事スタイルを生み出している女性起業家を取材し、経験や失敗談を含めて紹介している。

●上記の本はあざれあ図書館で借りることができます。

郵便はがき

4 2 2 8 0 6 3

50円切手を  
お貼りください

静岡市馬淵1丁目17-1  
静岡県女性総合センター  
『ねっとわあく』編集係 行

※差し支えなければご記入ください。

(ふりがな)

お名前

ご住所

〒

都道  
府

市区  
町村

丁目

番  
号

TEL

FAX

読者アンケートにご協力ください。  
点線で切り取り、お手数ですが切手を貼って  
送ってください。  
御意見・御感想も、お待ちしております！  
美術館の入場券・入場割引券をプレゼント

# 平成15年4月から 静岡県女性総合センターの名称が 「静岡県男女共同参画センター」に変わります。

(愛称:あざれあ)

女性と男性が、社会の対等な構成員として、自分の意志で社会のあらゆる分野の活動に参加する機会が保障され、それによって利益を受け、共に責任も担う社会づくりの拠点となる施設を目指します。



平成14年度行われた講座で、熱心に講師の話を聞く受講生



県民企画講座「フォーラムシアターでライフデザインを考えよう」

## 一緒に、あざれあ事業に参画しませんか

- 講座の企画実施団体を募集します。
- 補助事業・委託事業の実施団体を募集します
  - 地域活動パートナーシップ強化事業補助金
  - 研究調査委託(研究調査企画実施公募)
- 情報誌「ねっとわあく」を編集員を募集します
- 広報誌「エボカ」の通信員を募集します

## あなたも講演会・講座などに参加しませんか

### あざれあゼミナール

- 男女共同参画ナビゲーター養成コース  
地域や審議会・委員会などで活躍していくために必要な知識や手法を身につけます。
- 男女共同参画ファシリテーター養成コース  
講座／ワークショップの学習支援者として活躍するのに必要な知識や手法を身につけます。

### あざれあんナイトカレッジ

(女性のための講座・男性のための講座)  
仕事帰りに立ち寄り、職場の中で新しい自分を発見する講座

### 政策決定参画カレッジ

各種審議会・委員会などの政策決定の場で活躍できる女性のための講座

### あざれあ地域カレッジ

地域にあわせたテーマで講演会・講座を開催します。

## アンケート

○をつけてください

◆ 「ねっとわあく」をどちらで入手されましたか？

※あざれあから送られた場合には「DM」に○をつけてください。

DM・その他 ( )

◆ 「ねっとわあく」をお読みになるのは初めてですか？

初めて・ ( ) 回目・毎号読んでいる

◆ どの企画に興味を持たれましたか？

( ) ( ) ( ) ( )

◆ これから取り上げて欲しい企画や今号のご感想、その他意見などがありましたら何でもご記入をお願いします。

ご協力ありがとうございました。  
メッセージを「ねっとわあく」誌上でご紹介する場合があります。  
ペンネームをご希望の方は、記入してください。  
(ペンネーム )

お答えいただいたアンケートは、編集の参考にさせていただきます。また、読者の声の中で、読者のみなさま同士とよやかな心の交流ができたなら、うれしく思います。



平成15年10月発行予定の43号は、  
**あざれあ開館10周年記念特集号**です。  
読者の皆様の御意見、企画を募集します。

あざれあ10周年記念特集号に向けて、「読者の皆様からのお便り・取り上げてほしい内容・人」を募集します。

例えば、「あざれあで講座を受けて」「わたしを変えたこの人」「これからどうなる男女共同参画社会」など、10周年にふさわしい企画をお寄せください。

お便りの原稿は400字まで、住所・氏名・年代・性別・電話番号・匿名希望の有無(匿名希望の場合はペンネーム)を御記入の上、はがき、郵便、FAXまたはE-mailでお寄せください。締め切りは平成15年5月16日(金)まで。

〒422-8063 静岡市馬淵1-17-1 静岡県女性総合センターあざれあ

FAX : 054-255-9266 E-mail : azarea@shizuokanet.ne.jp

## 読者の声

### 41号特集

#### 「自分の生き方の中で介護とどう向きあっていきますか」

にお寄せいただいた声をご紹介します。

●パーフェクトでなくていいという徳松さんの介護に対する考えに共感しました。まだまだ女性に任されているこの世界ですが、多くの男性達にも理解と協力を求めます。

浜松市 つるちゃん(ペンネーム)

●これから迎える自分の老後と両親の介護。自分のまわりには、まだ介護を必要とする人はいませんが、資格を取得しいろいろ勉強しました。やはり「老い」から学ぶことはたくさんあると感じました。その人を知るにはその人の人生を知るということも大切ですね。

裾野市 勝又 恵子さん

●私は、三島市の社会福祉協議会で障害者で一人暮らしをしている70歳の男性の、歩行訓練と話し相手の活動をさせていただいた経験から、自分を相手の立場に置いたとき、できる限りの支援をさせていただいたことを思い出しました。

三島市 高橋 寛之さん

●日々の生活の積み重ねこそ介護される時、またする時に邪険な扱い方になってしまうか、例えボケても可愛がられるか決定されるのではないかとも思いました。本当に避けられない介護であるのですから、せいぜい楽しみ方を見つけ出していきたいと望みます。

沼津市 藤井 瑠璃さん

●仕事柄、興味を持って読みました。特に佐藤登美さんのトークは勇気づけられました。彼女が「老い」から学ぶことはたくさんありますと言っているように、まさにその通りです。日々成長できるよう努力している一人です。

浜松市 Miki さん(ペンネーム)

●今、介護する側にいます。してやりたいこと、やれることのギャップに悩んでいましたが、この本の中で「あなたの介護はもう始まっている」に、目からうろこです。新しい私としての生き方が見つかりました。ありがとうございます。

三島市 柳町 朱美さん

●「介護」というと、暗くて、我慢するというイメージがまだ強いのではないのでしょうか？ 遙洋子さんの「介護」と「恋愛」は、全く結びつかない発想でしたが、こういった「笑い」こそが介護には大切なのではないかと思いました。私のように、あまり介護について知らない人間にとっては、こういった肩の力をぬいて読めるページがあるのは、いいなと思いました。

榛原町 さくらさん(ペンネーム)

御意見ありがとうございます。

御意見・御感想をはがき、FAX、E-mailで、ぜひお寄せください。

E-mail : azarea@shizuokanet.ne.jp FAX : 054-255-9266

## 編集後記



●人が好き。私を元気づけてくれるのは、すてきな人たちとの出会い。インターネットが新しい出会いを生む可能性を、園田さんは教えてくれた。すてきな人やものと出会えるように、私もパソコンともっと仲良くなろう。

静岡市 宮城島 真理

●インターネットはどうも信用できないという人がいる。では、新聞なら正しいのか？ 本や人の噂はどうか？ 過剰に警戒するのではなく、「気づき」のきっかけが一つ増えると楽しみにするぐらいでどうだろう。最近うれしかったこと。夫のアドレスでやりとりしていた友人が自分専用のメールアドレスを持った。

静岡市 鈴木 美津子

●町の図書館で初めて「ねっとわあく」を手にし思った。「自分にはこの冊子の編集員はできない!」。しかし、なぜか編集スタッフに? 小さな困難を乗り越えていくのはちょっと快感。「物事が動いている時には波に乗れ」、無理しないで乗っていこう。次は何がある?

長泉町 鈴木 雅子

●IT活用も人生も本人次第! 「花咲ネットの会」を取材して、私も、自分らしい「老いる哲学」を携えて謙虚に学び、学んだことが、人に、地域に少しでも還元できたら…と思いました。これからも夢を形に、感動を实践に、謙虚さと感謝を忘れず、心豊かなシンプルライフを楽しく・仲良く・丁寧に生きたい!

三島市 重間 良子

●今年一番欲しい物…パソコン。ちょっと前までは私には無関係、なんて思っていたのだが。知らぬ間にはりめぐらされていた、インターネット包囲網! 「ねっとわあく」を通じ、魅力的な方たちにたくさん出会えた。総じて楽しい1年だった。ありがとうございました。

袋井市 金原 恵

『ねっとわあく』は年2回発行(3月、10月)  
県行政センター、県内女性センター、市役所、  
公立図書館、公民館、文化会館などで  
配布しています。

●『ねっとわあく』は県民から公募した編集員が  
企画編集しています。

●編集アドバイザー/大国 田鶴子

●発行/平成15年3月

●編集/静岡県生活・文化部男女共同参画室  
静岡県女性総合センター

●住所/〒422-8063 静岡市馬淵1丁目17-1

●TEL/054-250-8107 FAX/054-255-9266



R100

古紙配合率100%再生紙を使用しています。